

(株)システムクレオ



# 保留、月遅れ請求、返戻の登録

<手順>

業務メニューから 43 請求管理 を選択します。

## 保留登録(保険番号の不明等で請求できない場合)

### (例:R6.4診療分を請求しない場合)



1. 診療年月を入力します。(当月になります)

2. 患者番号を入力し Enter を押します。
 ※診療データがあれば上記のように自動的に点数・日数が表示されます。

- 請求年月は空白でも構いません。(いつ請求するか分かっていれば年月を入力)
   ※該当月になれば自動的に請求される訳ではありません。(あくまで予定請求年月)
   請求する際には必ず月遅れ登録を行って下さい。※次ページ参照。
- 4. 返戻年月は「空白」のまま Enter を押します。
- 5. 請求区分を「0 請求しない」にします。
- 6. 登録(F12) を押すと「更新処理をします」と表示されるので OK(F12) を押します。

#### 月遅れ登録(保留にしていたレセプトやまだ提出していないレセプトを請求する場合) ※「社保に請求していたが実際は国保だった・・」など請求先が異なるために返戻で返ってきたレセプト を再請求する場合も月遅れ登録を行います。 (例:R5.5診療分をR5.7請求分と一緒に請求する場合) (H01)レセプト請求管理登録-手書き訂正入力 - クレオクリニック [ormaster] 患者番号 00003039 診療年月 R 5.5 入外区分 提出先 レセプト種別 保険者番号 記号·番号 テスト 太郎 入院外 12434031 4444444 R 6. 4.27 12:22作成 診療科 支払基金 1212 請求年月 R 5.7 返戻年月 ] 這具無 請求区分 1 未請求 年齢 48 ▶ 訂正区分 割合 本人 2 (小書語(七書4)) 請求在日 返戻年月 診療年月 R 5.5 患者番号 00003039 入外区分 提出先 レセプト種別 保険者番号 記号·番号 入院外 支払基: 4 1212 診療科 5 12434031 444444 1 3 年齢 48 給付割合 請求年月 R 5.7 請求区分 1 未請求 返戻年月 本人 返戻年月 (公費請求書分) 請求年月 往間 深夜 在宅患 いつの診療分に含めるかを入力します。 (例)R5.7診療分に含める場合 外用調剤 処麻調 皮下筋肉内静脈内 その他処置 軍者 手術・麻酔 薬 剤 病理検査 薬 剤 画像診断 薬剤 処方せん その他 薬剤 合計点数 141 合計占数 141 6 一部負担金 部負担余 戻る クリア 前回患者 返戻一覧 患者設定 氏名検索 登録 ※事前に 42 明細書 より診療年月で個別作成を行って下さい。(例の場合R5.5) 個別作成をする際に下図のようなメッセージが表示された場合は、| F10:削除する を選択して 下さい。 (RID4)確認画面 1002 個別作成で作表します 請求しない設定された請求管理データがあります。このデータを削除し新たに請求管理データを作成しますか 戻る F10:削除する

- 1. 診療年月を入力します。
- 2. 患者番号を入力し Enter を押します。

※診療データがあれば上記のように自動的に点数・日数が表示されます。

「対象のレセプトは存在しません」と表示された場合は-請8-の困ったときはを参照。

- 3. 請求年月を入力します。
- 4. 返戻年月は「空白」のまま Enter を押します。
- 5. 請求区分を「1 未請求」にします。
- 6. 登録(F12) を押すと「更新処理をします」と表示されるので OK(F12)を押します。

#### 返戻登録(返戻で戻ってきたレセプトを修正後に再度請求する場合) (例:R6.1診療分がR6.3に返戻されR6.4請求分と一緒に請求する場合) (H01)レセプト請求管理登録-手書き訂正入力 - クレオクリニック [ormaster] 診療年月 R 6.1 患者番号 00003042 入外区分 提出先 レセプト種別 保険者番号 記号·番号 診療科 テスト 太郎 入院外 国保連合会 1112 430017 12345678 8 R 6. 4.27 12:27作成 年齢 34 給付割合 7 本人 請求年月 R 6.4 返戻年月 R 6.3 □ 返票無 請求区分 1 未請求 ✓ 訂正区分 2 (公費請求書分) 請求年月 返戻年月 患者番号 00003042 診療年月 R 6.1 入外区分 提出先 レセプト種別 保険者番号 記号·番号 診療科 3 入院外 国保連一人 1112 430017 12345678 アスト 5 人即 請求年月 R 6.4 請求区分 1 未請求 7 本人 返戻年月 R 6.3 年齢 34 給付割合 (公費請求書分) 請求年月 返戻年月 在 で で で で 間 深夜・緊急 在宅患者訪問診療 その他 薬剤 内服薬剤 内服調剤 屯服薬剤 外用薬剤 外用調剤 外用調剤 麻調 皮下筋肉内 静脈内 その他 **薬 剤** 手術・麻酔 菜 剤 病理検査 案 剤 画像診断 <u>薬</u>剤 処方せん 68 68 その他業剤 合計点数 合計点数 161 161 6 一部負担金 部會相会 戻る クリア 前回患者 返戻一覧 患者設定 登録 氏名検索

※事前に 42 明細書 より<u>診療年月</u>で個別作成を行って下さい。(例の場合R6.1)

- 1. 診療年月を入力します。
- 2. 患者番号を入力し Enter を押します。
   ※診療データがあれば上記のように自動的に点数・日数が表示されます。
   「対象のレセプトは存在しません」と表示された場合は-請 8-の困ったときはを参照。
- 3. 請求年月を入力します。
- 4. 返戻年月を入力します。

返戻年月を入力することで、返戻分だけの別総括表を印刷することができます。 ※通常請求分を紙レセプトで提出している場合は返戻年月を空白で登録します。

- 5. 請求区分を「1 未請求」にします。
- 6. 登録(F12) を押すと「更新処理をします」と表示されるので OK(F12) を 押します。

★注意★

月遅れ登録、返戻登録後に、該当する診療年月の一括作成や該当患者様の個別作成を

し直すと、請求管理の登録がクリアされてしまいます。再度、請求管理にて月遅れ・返戻登録を行って

下さい。



★ポイント★

保留・月遅れ・返戻の登録が終わりましたら、正しく登録が出来ているか 52月次統計 の 008 保留・再請求・月遅れ一覧表、 010 保険請求確認リストより確認をする事をお勧めします。 ※月次統計マニュアルP10参照

## ORCA導入前に請求したレセプトの返戻登録

日医標準レセプトソフト(ORCA)を導入前のレセプトが返戻された場合には、 返戻された診療月で診療行為を入力し、集計をかける事で別総括の作成が可能です。

<手順>

(例:ORCAにてR5.12~稼動した医療機関様。

R5. 11診療分がR6. 3に返戻されR6. 3請求分と一緒に請求する場合)

※再提出するレセプトは事前に返戻事由に応じて修正を行って下さい。

1. 業務メニューの 環境設定(F6) より診療年月へ日付を変更して 登録(F12) を

worm)実施メニュー・クレオクウニック [onnas	ster]									
— 受付業務 ————————————————————————————————————										
11 受 付	13 照	숡			ì	区戻	のあ	うった診療	廢月の月末(	こ設定しま
12 登 録	14 予	約			-	<del>ι</del> τ	71+9	宇陀の画	診口でものとう	~ <del>.</del>
入院業務						,  , <i>,</i>		天际の文		
31 入退院登録	(M95)業務選	R-環境		(						
32 入院会計照会	端未設定	システム	設定	他院切替						
保険請求業務	( a 7= 1	n det	D 5 11	20	7	-				
41 データチェック	9,51	ניםא	K 5.11	.30						
42 明細書		H	月	火				±		
	J				1	2	3	4		
		5	6	7	8	9	10	11	6	
		12	20	21	22	23	24	25	92 7	、夕更新
		26	27	28	29	30				
· 东 差 修 起										
		外中時	朝外区分	0	時間内				<u>)A)</u>	
		7171001	u,,, <u> </u> ,,						<u>MDA)</u>	
お知らせ♦WebORCAクラウドブ										
- 2024 04 26 共济学校 + 大平環境										
<ul> <li>2024-04-26 共通基盤●本音視境の</li> <li>2024-04-25 お知らせ●WebORC</li> </ul>	A								$\sim$	
<ul> <li>2024-04-25 パッチ提供(第56回)</li> </ul>	「戻る」				F8 切	¥7		- ( <u>-</u>	容録 その他	
<ul> <li>2024-04-19 お知らせ◆ORCAプロ</li> </ul>										
<ul> <li>2024-04-17 マスタ更新◆特材品目</li> </ul>	目算定マスタ									
• 2024-04-17 マスタ更新◆点数マン	スタ、一般名マス	タ、最低	「薬価マン	々、医	業品分類	222				
AAAA AA A	11									

2. 21 診療行為 より該当の患者様を呼び出します。

診察料(初診or再診)が自動表示されますので 登録(F12) を押し精算させます。

※診療内容を登録し集計後、43 請求管理 にて点数を変更しますので、この時点では実際に

請求する点数と異なっていても構いません。

0000	)3042	テスト タロウ	男 0	002 国保 (43001	7)	
R 5.	11.30 院外	テスト 太郎	H 1. 3.16	34才	01 内科	
					0001 クレオ 太郎	
₽⊠	入力コード	名利	<u>۲</u>		数量・点数	
診区 12	入力コード b	名和 *C再診料	<b>Т</b>		数量・点数	
診区 12	入力コード b meisai	名和 *C再診料 明細書発行体制等加算	<b>π</b>		数量・点数 74 X 1 74	

※請求確認画面にて、領収書や明細書の発行区分を「0発行しない」に変更して

登録(F12)を押して下さい。

(R03)レセプ	ト作成ー作成指示 - クレオクリニック [ormaster]			
		2.3.陈从	1 提出用したプレ	
				<b>_</b>
		単10月以降の後期高齢2割レセノ	ト対応ノロクラム適用清>	
	○一括作成 診療年月 R 5.			
	医保	○労 災	自賠責	○公 害
	○全 件		○新 様 式	
	○社 保		○従 来 様 式	
	〇国保		○ 第三者行為	
	(RID1)確認画面			
	1001			
	令和 5年11月 入院外分新	現作成処理を行います		
	戻る			ОК
	○個別作成			
	○医保			
	○労 災			
	○ 自賠責 (新様式)			
	○ 自賠責(従来様式)			
	○ 白贴書(第三者行為)			

4.「処理は正常に終了しました」と表示されたら 戻る(F1)を押します。

番号	処理名	開始時間 終了時間	エラーメッセージ
0000001	レセ電データ作成	13.51.24 13.51.25	

# 5. 業務メニューに戻り 43 請求管理 より返戻登録をします。

# (例:R5.11診療分がR6.3に返戻されR6.3請求分と一緒に請求)

診療年月 R 5.11 思者番号 C 診療科 テ	00003042 スト 太郎	入外区 入院外	分     提出先       国保連合	レセプト種5 会 1112	別 保険者番 430017	号	記号 1 2	・番号 34567	88 R	6. 4.27 13:51作成
年齢 34 給付割合 7 本人	(公費請求書分	請求年月 ) 請求年月	R 6. 3	返戻年月 R6 返戻年月	3	関無 請求	区分 [1末]	青求	🔽 訂正区分	}
	基本点数 回数	点数	公費点数1	公費点数 2		基本点数	回数	点数	公費点数1	公費点数 2
初 診 再 診 外来管理加算 時間外 休 日 ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	74 1 52 1	74 52				74 52	1	74 52		
医学管理 医学管理 第 R 5.11 思者番号	00003042		) 入外区 入院外	<ul> <li>分提出先</li> <li>国保連合</li> </ul>	レセフ 会 1 <u>112</u>	「ト種別	保険者 430017	 番号 7	i	記号·番号
34 給付割合 7 本。	人 (公費)	<b>「</b> 求書分)	請求年月 請求年月	R 6. 3	返戻年月 返戻年月	R 6. 3	>	近戻無く	請求区分	1 未請求
外用薬剤			ļ			ļ	ļ	ļ	I	
45 申調者										
外用調剤 処 方 屈 妻										
外用調剤 処 方 麻 毒 由下統成本										
外用調剤 処 方 麻毒 調 基 皮下筋肉内 静脈内										
外用調約 処 方 麻 毒 暴 皮 下筋肉内 静脈内 その他 処 置										
外市調約 処方 麻毒 夏 皮下筋肉内 静脈内 その他 処置 棄 紙 筆 紙 歌										
外用調約 処方 麻毒 調一皮下筋肉内 静脈内 一般の置 和 手術 東神奈 (麻酔) (原料) (原料)										
外用調約 処方 麻毒基 皮下節肉内 静肥の他 型、環 麻酔 病 病 理 葉 和 一										
外用調約 処方 麻毒基 皮下筋肉肉内 静肥他 名処置 漸 新 、栗麻酔 漸 病理 運 酸 野 術 、栗麻酔 高 電 像 栗 新 画 の ( 原 、 一 の 一 の 方 一 の 方 一 の 方 一 の 方 の 内 一 の 方 一 の 方 の 内 一 の 方 の の 内 一 の の 内 一 の の 内 の の 内 の の の の の の										
外 用 列 所 毒 裏 取 防 静 防 肉 防 内 内 内 内 内 内 内 の 勝 の 原 内 勝 の 原 内 内 内 の 派 専 基 更 万 筋 静 の 内 内 の 派 の 奏 馬 の 気 の 所 の 月 の 所 の 所 の 原 の が の の 内 の に の の の の の の の の の の の の の の の										
外 州 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (										
外 州 処 麻 毒 夏 防 筋 筋 筋 筋 筋 肉 内 を 下 静 部 の 他 置 気 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋		126						126		



OK(F12)を押し登録します。

8. この作業まで終わったら、返戻分の総括表を 44 総括表・公費請求書 より印刷します。

								槽准绘纸表F	181指示
	診療年月 R 6.3	>	(出力対象の	診療年月を入	力)		注 []	t 保 目 保 て 城	有無
	請求年月日 R 6. 4. 9	$\mathbf{>}$	(請求書に印	字する年月日	を入力)		L	レセ電国保レレ電広域	#
	<ul> <li>パネペスポート</li> <li>総括表・社保</li> <li>ジュー</li> </ul>	分・月遅れ分	🔽 返戻 🤊	;					
	<ul> <li>✓ 総括表・国保</li> <li>□ 当月</li> </ul>	分・月遅れ分	✔ 返戻分	し個別指定	の保険者番号				
	<ul> <li>総括表・広域</li> <li>ビ当月</li> </ul>	分・月遅れ分	☑ 返戻分	$\checkmark$	(例)国	保の返済	<b></b> 実総括		
	<ul> <li>総括表・公害</li> <li>レセ電総括表・国</li> </ul>	保.			表を印刷	削する場	合		
	<ul> <li>レセ電総括表・広</li> <li>公費請求書</li> </ul>	łą,							
	<ul> <li>総括表・労災</li> <li>&lt;令和4年10月以降</li> </ul>	の後期高齢2割し	- 七電作成等対応	5プログラム通	1用済>				
	レセプト電算システ 1提出用	ム提供データ・2	公費 C S V 提供∋	-9	レセ電チェック 1	チェックする	<b>~</b>		
	ファイル出力先 5 クライア	'ント保存		<b>•</b>	入外区分 0	入院・入院外			
自賠責PDF	データ取込 個別指示	労災レセ電	E·F	公費CSV	主科未設定	公費個別	チェック	プリンタ	2011年1月



A. 診療内容の入力や修正をした後に 42 明細書 から集計をかけていない為です。
 診療内容を入力しただけでは、レセプトデータが作成されません。
 必ず<u>診療月</u>で個別作成を行ってください。

★注意★

※既に他の患者様が、診療月で返戻登録をしている場合、再度一括作成を行う事で 返戻登録が一度、クリアされてしまいます。

返戻登録後に一括集計をかける時にはもう一度返戻登録をやり直すか、対象の患者様のみ個別 作成を行ってください。